

奈良県看護学会抄録選考基準

【第 49 回（平成 30 年度）日本看護学会学術集会抄録作成原稿の作成方法」P 6 引用・改変】

*演題登録の際の参考としてご活用ください。

項目	No.	内容
表題	1	内容を適切に表現している
目的 背景	2	この研究により何を明らかにしようとしているかが明確である
	3	研究の意義が明確である
方法	4	研究方法は、研究目的・目標達成のために妥当である
	5	対象は適切である
	6	データ収集方法および手順を示している
	7	分析方法は妥当である
結果	8	研究目的にそった結果を示している
	9	事実を客観的に示している
	10	図表の表現・体裁は適切である
考察	11	得られた結果に基づいた解釈をしている
	12	研究目的にそった考察で一貫性がある
倫理的 配慮	13	個人が特定されないように配慮している
	14	倫理審査委員会において研究に関する倫理審査を受け、承認を得ていることを示している ただし、倫理審査委員会以外の決定機関（幹部会議、看護部、委員会等の承認を得ている場合は、下記をすべて満たしていることを示している ・対象者（または代諾者）から 研究実施ならびに発表に関する自由意思による承諾 が得られている ・対象者の不利益が生じないように配慮している
発表価値	15	看護実践に意味ある事実や知見がある

平成 31 年 1 月作成